

1 学期終業式 校長講話（要約）

1 学期の終業式は放送でおこない、次のような話をしました。

新型コロナウイルス感染症が世界を脅かす中、私たちはとても不安な状況に置かれています。この不安な状況を乗り越えるために、この夏休みをどのように生活すればいいのでしょうか。

それは、「一日、一週間単位でスケジュールを立てて行動することです」

人間は安定を求める生き物です。そのため、今の生活がいつまで続くのだろう…と先が見えない（予測ができない）と不安になります。そこで、起きる時間、ご飯の時間、勉強の時間、部活動の時間などをしっかり計画することで、自分の生活に秩序をもたらし、予測できる1日になります。予測できる1日1日の積み重ねが、予測できる1週間となり、その積み重ねが笑える1年後となります。よって、この夏休みからはスケジュールを立てて生活をしましょう。

そして、もう一つ、夏休みは学力を伸ばすうえでも大切な時期です。

時々、「勉強してもわからんねん」という生徒に出会うことがあります。しかし、勉強は正しい方法で適切な量と質をおこなえばある程度はできるようになるものです。勉強する努力を惜しんでいては、道は開かれませんが、自分はどうせできないからと嘆き過ごすのか、それとも、「やればできる」と信じて努力するのかが、未来が大きく変わってきます。最後まであきらめず、地道な努力を続ける先にこそ未来は開かれます。

この夏は、しっかりと目標を持ち、スケジュールを立て、勉強や部活動など積極的にチャレンジする夏休みにしましょう！